

好學尚武

市民大会雑感

市民大会（旧浦和市）を無事終わりました。全日程を市高隣の市営浦和球場で行っている関係で、私が中心となって運営させていただいています。（過去にも書いていますが）この大会は、昭和20年代後半、県立浦和高校と浦和商业高校の交流戦からスタートしていると聞いていますので、歴史ある大会、私が関わっている間に衰退させるわけにはいかない・・・そんな強い使命感を持って望んでいます。

今年も熱い試合が展開されました（公立6・私立3、合計9校で実施）。

私立高校の存在が大きいです。

全国大会常連の浦和学院高校（以下浦学）、今年春の選抜で甲子園ベスト4の浦和実業学園高校（以下浦実）、今秋埼玉県大会ベスト4の浦和麗明高校（以下麗明）、その3校に公立6校が挑む構図です。

3校ずつ3つのグループに分かれてのリーグ戦（フリー抽選）、今年は私立3校が3つにしっかり分かれたこともあり（去年は私立3校で予選リーグ、これはこれで面白かったです）それぞれ1位で突破、2位代表という形で私達、市立浦和高校（以下市高）が決勝トーナメントに進出という形になりました。

最終日（16日）に3位決定戦の麗明対市高、決勝戦の浦学対実業が行われましたが、決勝がこのカードになったからか、前座である3位決定戦（私達の試合）から多くの方に足を運んでいただいた中での1日となりました。

この4校の中では間違いなく戦力的に厳しい市高もこの日はよく粘りました。前半5点先制されながらも5点を取り返しさらに逆転、最終的に11対12で敗退しましたが、最後まで諦めない姿勢は見せられたと思います。

その後の決勝戦、浦学有利の予想に反して浦実が3点先制、逃げようとする浦実に対して襲いかかる浦学、とても見応えがありました（最終的には浦学が逆転して2年連続優勝）。

たかが市民大会かも知れませんが、地元の高校には負けられない・・・「浦和」の市民大会はそんな雰囲気があって私は好きです。市高も来年は私立3校に食い込んでやろうと真剣に思っています。

最後に・・・この大会が市の野球連盟（審判の方々）による（2週にわたっての）球場招待という形で実施されていること、また、この大会すべての本部業務（記録・放送等）を市高マネージャー5名のみで行ったことを報告させていただきます。

関係者の皆さん、本当にありがとうございました。来年度以降もよろしくお願い致します。